

を差めつつあるか其の作樂進抄に對する見込に就ては 23 May 1949
附SID/HS No.11 を以て報告した状況以外追加することはない。

(終)

昭和二十二年六月二十三日

G H Q 指令ニ依ル海軍作戦資料整備予定ニ就イテ

第二復員局資料整理部史實班

一九四一年一二月 G H Q 指令第 號ニ基テ海軍作戦資料整備ノ予定ハ概ネ附表ノ通アルガ作業ノ都合ニ依ツテ相當變更サレモ専ガアルニ各項目内ノ細項ハ作業ヲ擔當シテキル者ガ實情ニ照シテ決メルノガ適當デアルノテ今此處ニ予定トシテ掲記出來ナイ

極メテ概略ナ金數作戦資料ハ本年末頃ニハ一應出庫上ル夏迄デアルガ資料ガ極メテ不足シテキル爲相當「ブランク」ナ部分ガ出來ルト思フ

此ノ「ブランク」ノ部分ノ資料ヲ蒐メテ完成スルマデニハ相當ノ期間ヲ要スルモノト思フ

海軍

別表

海戦作戦資料内容及提出予定期限

区分	項目	頁數	提出期限(予想)
第一階段作戦(1942年5月迄開戦ヨリ)	◎機動部隊ノ作戦 (布哇作戦、ポルトダウイン空襲作戦) 印度洋作戦	一一〇	提出済
	◎南方部隊ノ作戦 比島攻略作戦、馬來攻略作戦、「ボルネオ」 「ジャバ」攻略作戦、「ビルマ」「アランダ マン」攻略作戦	二〇〇	提出済
第二階段作戦(1942-6~1943-2)	◎南洋部隊ノ作戦 「ガム」「ウエーキ」「ビスマーク」「ソ ロモン」「ニューギニア」攻略作戦	一〇〇	八月末
	◎「ミッドウエイ」作戦	一二〇	提出済
	◎「アリューシャン」作戦	八〇	提出済
	◎南東方面ノ作戦 「ポートモレスビー」進撃作戦 「カ」島及「ニューキニヤ」方面作戦	二〇〇	十二月上旬
	◎南西方面ノ作戦	五〇	十月上旬
	◎北方方面ノ作戦	一〇〇	七月上旬
	◎南東方面ノ作戦	一〇〇	十二月末
	◎南西方面ノ作戦	一〇〇	十一月月上旬
	◎内南洋方面ノ作戦	一〇〇	九月末
	◎あ號作戦	一六〇	七月上旬
第三階段作戦(1943-2~終戦)	◎硫黄島作戦	六〇	提出済
	◎沖繩作戦	一〇〇	七月末
	◎對蘇作戦	三〇	提出済
	◎本土上陸ニ對スル反撃作戦準備	九〇	提出済
	◎潜水艦作戦	三〇〇	十二月末
	◎國土防衛作戦	五〇〇	八月月上旬
	◎對潛作戦	一〇〇	十二月末
	◎戦争關聯圖表、戰訓の事項等	七〇〇	十二月末
		約三〇〇〇	

史実

SID/ES No.6

2 April 1949

To : Lt. Col. S.M. Gase, G-2, CHQ, SCAP.

Subject: 管日本陸軍作戦資料編纂評置に關する件

18 March 1949 附 SID/ES No.5 を以て送出した首題の件に關し貴殿の指示に基

一併例とも詳細打合を遂行すると共に二例の全能力を動員して作業の促進を
圖る如く徹討した結果所載の過訂置を変更したから更めて貴殿に提出する
進つて別紙は SID/ES No.6 に比較し各資料の番號、名稱、分類、頁數等に
於て相違の變更を加へてあるから本報告御入取の上は SID/ES No.6 は廢棄
のことに取計られたる

Midomi Yoshida
Historical Record Section
2nd Demobilization Bureau
Liquidation Division.

0317

別紙

舊日本海軍の作戦資料編製計畫

A、作業量

一、原稿完了しある分

(a) 既提出のもの再製

本文

二、四二六頁

附圖、表具の他寫真等

四二七葉

計

二、八五三頁

(b) 未提出のもの新製

本文

一、一三六頁

圖表類

若干

計

一、一三六頁 + d

a + b 合計三、九七九頁 + d 即ち約四、〇〇〇頁である

三、今後起情すべき分

本文一、二四〇頁及圖表類若干となる見込なるも本計畫には単に表題のみを摘記し其の作製予定に關しては今後の推移に依り更めて御指
示を仰ぎ案定のことに致したい。

B、作業豫定

約六〇〇頁の作業を第二役員局が被處理部に於て自ら作業する分を
約三三〇頁（内必須買地万伊員が被處理部をして作製せしめる分を
約六六〇頁と予定して居る）第一役員局へ作業を依頼することに決定
した分を約一七〇頁と割當てた。而して全作業を完了し得るのは一
伊、二伊共に一應七月三十一日と予定してあるか今後の作業促進に關
する研究努力に依り若干の早期完了は可能なるものと期待して居る。
各作業の實施計畫の内容は次の通りである。

一、二伊自ら買辦する分

○ 複製表を作成する

○ 案稿を調製並箇所を送付

○ 総見を提出請

○ 案稿が当班に送付新案を

2 2 2 2 2

No.	Title	Page	完成予定期日	記
①	北方方面の作戦	103	3-31	予定通り完成
②	沖縄方面作戦	168		4-1提出済
③	機動部隊の作戦	106		
④	南方部隊の作戦全般に於ける日本海軍作戦状況 攻略作戦に於ける日本海軍作戦状況	45	4-30	
⑤	馬來攻略作戦	63		
⑥	蘭領東印度攻略作戦	84		
⑦	潜水艦作戦 (FROM DEC. 1941) (to APR. 1942)	130		
⑧	Iwojima Operations	51	5-31	
⑨	Burma and Andaman Operations	32		
⑩	「スマトラ」の戦況 攻略及南西方面各地			
11	Submarine Operations (1st Phase)	11	6-30	
12	本土防衛作戦 第一	47		

0320

Y Y Y G G G G G G G G G G

一三	Midway Operation	1-16		三三中相量数は他 のRatioと同時に 終了する見込
一四	Alcution Operations	80	6-30	
一五	比島攻略作戦 <small>に於ける日本空軍の 作戦状況</small>	三四		
二四	"I-Go" Operations	一二八	7-31	
三三	離離圖表類	約三五〇		
一七〇	南西方面の作戦 <small>(FROM APR. 1942) (TO APR. 1944)</small>	四七		
一〇	西部「ニユギニア」方面及疎北方 面作戦	六七	7-31	領地方復を先處理 部にて作戦
二五〇	本土上陸に對する反撃作戦準備	七四		
二六〇	對蘇作戦	六一		
新に追加の分				
三六	第五航空艦隊の作戦記録	二〇三	6-30	領地方復にて作 戦す
三七	終戦前の作戦概況に待戦	三五		
三八	南東方面航空作戦経過の概要	八四	5-15	
三九	同	九二		
四〇	同	八二	6-15	

0321

二一處に作接を依頼する分

No.	Title	Page	元成予定期日	記
一六〇	南東方面の作戦 其の一	九六		
一九	対水陸作戦 (Tom Ariz. 1942) 其の一 (To Mac. 1943) 其の一	一一八	7-31	
二〇	西 () 其の二	一六三		
二一〇	南東方面の作戦 其の二	九七		
二二〇	其の三	一一三		
二三〇	同 其の四	三〇		一俣承諾済
二七	北島方面作戦 其の一	六〇		
二八	同 其の二	一六六	5-30	
二九	同 其の三	二〇〇		
三〇	同 其の四	七二		
三一	北島方面に於ける対水陸作戦	六〇		
三三〇	一九四五午に於ける「ボルネオ」 方面の作戦	八		
三四〇	第三段作戦経過の概要	五六		原稿一俣へ 引渡済
三五〇	通信作戦史	六三〇	3-31	

0322

三、新に作製予定の分

(一) 諸君に不確實なるに付今後原稿完可の推移に懸じ更めて御指示を

受け作製計畫を立米すべきもの

(二) 起稿中にして概ね確實に提出し得べしと認める分

No.	FILE NO.	予想頁數
四四	明報迄の政戦兩略並に戦前策定の作戦計畫	一〇〇
四五	戦前の軍備整理	五〇〇
四六	第一段作戦の経過概要	三〇
四七	第二段作戦の経過概要	五〇
四八	「ギルバート」方面の作戦	二〇
四九	内南洋群島方面の作戦	七〇

尚未起稿にして目下の處作製の能否に關し確言し得ないもの

④ 陸軍
⑤ 海軍
⑥ 航空隊

本土防衛作戦 其ノ二
海上防衛作戦

〇二二〇
〇二二〇
〇二二〇

No.	Title	予想頁數
五〇	南洋部隊の作戦	五〇
五〇	支那方面部隊の作戦	五〇
五〇	大陸方面の作戦	五〇
五〇	本土防衛作戦（封空装作戦）其ノ多	五〇
五〇	潜水艦作戦（第三段）	七〇
五〇	終戦處理關係	二〇〇

（終）

史学雑誌

二復資第一九七號

昭和二十四年五月二十八日

第二復員局機務處理部經理課長殿

第二復員局機務處理部資料課長

戦史複製作業の一部訂正に關する件照會

二復資第一七四號で照會した文化史料調査會に委託する首題の件第三期委託作業を左の通り訂正する。

記

一の(3)第三期委託作業(戦史第二圖^表作製) 完成期日十月末日

ト 圖表のトレス及青寫眞作製

現圖六種一三〇枚をトレスの上各一〇枚計一三〇〇枚の青燒を作る。

ロ ト頃の青燒圖表を各一〇冊計六〇冊製本する。

所要見込豫算

區分	金額	完成期
第一期委託作業	三一、二一五圓	六月末日
第二期委託作業	一〇二、六三〇	七月末日
第三期委託作業	五三、九三〇	十月末日
計	一八七、七七五	

(終)

11

Handwritten mark

その四

所	冊数	部数	本数	備考
内閣文庫	八三〇	八〇	八〇	本館のもの一本
国立国会図書館	一三三	一三三	一三三	
東京大学文学部	一三三	一三三	一三三	
京都大学文学部	一三三	一三三	一三三	
大阪大学文学部	一三三	一三三	一三三	

史、原班長殿

SID/HS No. 11

25 May 1949

To: Lt. Col. S.M. Case, G-2, GHQ, Scap.

Subject: 舊日本海軍作戦資料二卷の詳細計畫に關する件

去 2 Apr. 1949 附私から貴殿に提出した SID/HS No. 6 の作業計畫中 No. 33 の關聯
圖表類作製に關しては相當の作業量、技術及予算を必要とする關係上其の
後種々研究を重ねた結果一應加衣の如く計畫したから更めて之を貴殿に提
出する。

追つて本資料の完成提出期日は八月上旬と予定して居るが作業實施の狀
況に依つては若干遅延することもあるから豫め賢意を行た。

Hidemichi Yoshida
Chief of Historical Section
2nd Demobilization Liquidation
Division.

日 本 政 府

0328

別表

No. 33 の複製に關する詳細計畫表

假番號	表題	頁數	複製方式	完成予定期日
三三〇(一)	護衛總隊 (G E B)	八	青焼	
	支那方面艦隊 (C S F)			
三二〇(三)	航空艦隊 (A F) 係編制圖	一〇	"	
	南西方面艦隊 (G K F)			
二二〇(三)	各南遣艦隊 (K F)	一〇	"	七一三一
	南東方面艦隊 (N T F)			
三三〇(一)	聯合艦隊 (G F)	二〇	"	
	九艦隊 (九 F)			
三三〇(五)	小艦艇關係編制圖	二五	"	
三三〇(六)	航空隊編制圖	二五	"	七一三一
三三〇(七)	護衛艦及補助船表	八九	"	七一三一
三三〇(八)	飛行機搭載艦編制及飛行機定数表	二五	"	

日本政府

三三〇 (九) 航空部隊編制及飛行機定数表 (内線部隊) 二二

三三〇 (一〇) " (外線部隊) 五二

三三〇 (一一) 潜水艦喪失一覽表 六

三三〇 (一二) 潜水部隊戦時編制並に改編表 三〇

一三 計 三二六


Typings

印刷

七一五

備考

- (一) 青燒の原圖作製は相當の作業となる爲完成予定を一應七月末と計畫したが若干遅延するかも知れない、特にNo.53の(7)の作業完了に對して自信が無い。
- (二) 本表に依る作業完了後、本稿の爲更に最小限一〇日内外の整理期間を必要とする。
- (三) 本表の資料分類、枚数等に若干の変更が加へるかも知れない。



SLD/HS No. 11.

23 May 1949.

To: Lt.-Colonel S. M. Case, G-2, GHQ, SCAP.
Subject: Concerning Detailed Schedule for Compilation of
Data of Operations of Defunct Japanese Navy.

As to the compilation of charts, tables, etc. connected with No. 33 in the schedule of our reproducing work mentioned in SLD/HS No. 6 submitted by me to you under date of 2 April 1949, it has been examined from every standpoint because it is expected that the said compilation would need our working power, technics and budget appropriation in a considerable amount. As a result, we have scheduled it as set forth in the enclosure attached hereto, which is submitted to you anew.

Further, concerning the estimated date of completion and submission of these data, although it is scheduled to be the early part of August, according to the situations of progress of the work hereafter, it may be delayed somewhat behind the scheduled date for which your understanding is requested in advance.

Hidemi Yeshida,
Chief, Historical Records Section,
Second Demobilization Bureau
Liquidation Division.

0331

ENCLOSURE

Table Showing Detailed of Schedule for Compilation of No. 33.

Provisional number	Title	Page	Method of producing	Estimated date of completion
33-(1)	Chart of organization connected with: (Combined Escort Forces (GEB) (China Seas Fleet (CSF))	8	Blue-printing	31 July.
33-(2)	Chart of organization connected with: (Air Fleet (AF))	10	"	
33-(3)	Chart of organization connected with: (South-Western Area Fleet (GKF) (each South Sea Fleet (KF) (South-Eastern Area Fleet (NTF))	10	"	
33-(4)	Chart of organization connected with: (Combined Fleet (GF) ~ (9th Fleet (9F))	20	"	
33-(5)	Chart of organization connected with small vessels.	25	"	15 July.
33-(6)	Chart of transition of organization of Naval Flying Corps.	25	"	
33-(7)	Chart indicating positions of escort vessels and general ships sunkened or bottomed.	89	"	31 July.
33-(8)	Table of organization of vessels loading aircraft aboard and fixed number of such aircraft of each vessel.	25	Typewriting and printing	15 July.
33-(9)	Table of organization of flying corps and fixed number of aircraft of each corps (interior front corps).	22		
33-(10)	" (exterior front corps).	52		
33-(11)	List of lost submarines.	6		
33-(12)	Table of wartime organization of submarine force and its revision.	34		

0332

	Total	326	
Remarks	<p>(1) Although the date of completion was scheduled at the end of July in the present table, it might be delayed to some extent for the works of drawing up the original charts ^{for} of blue prints would be voluminous. Above all, nothing can be said definitely with assurance about the date of working out No. 33-(7).</p> <p>(2) It will take at least ten days' period for bookbindings after finishing the works mentioned in this table.</p> <p>(3) Some changes may be made in future to the classification of data and their pages in this table as circumstances may dictate.</p>		

二
史
室
班
長
殿

寫

二復資第一九八號

昭和二十四年五月二十八日

第二復員局殘務處理部經理課長殿

第二復員局殘務處理部資料課長

資料課特殊經費に関する件

先に口頭要求のあつた首題の件は別紙の通りである。

追て本特殊經費中には調査業務に伴ふ呼出旅費を含まず、又昭和二十三年度の支出実績中には囑託者（宮堀江氏）への報酬は含んでゐない。

（別紙添）

寫送付先
第二復員局殘務處理部庶務課長

（終）

別紙

資料課特殊經費調書

二四、五、二五

班別	項目	支出年月	金額	支拂先	記	事
史實	謝禮金	二三一 五四	一、二〇〇〇圓	藤井茂氏	戰史原稿料	
	寫真代	八	一、六五〇〇	文化復興史料調査會寫真部	海軍關係作戰記錄寫真複製	
	青寫真代	八	三、二〇〇	青協社	福井靜夫氏作製 艦艇建造經緯青寫真	三三二枚
		九	五、〇〇〇			三三〇枚
		十一	三、〇〇〇			三四〇枚
	寫真代	十二	八、九〇〇	文化復興史料調査會寫真部	法務調査班裁判資料 寫真複製	二二〇枚代
	筆耕料	二四一 一一	二、二五〇	富岡定俊外十五名	戰史原稿料	
		三	二、九七〇	十川潔外十六名		
	寫真代	三	四、八〇〇	文化復興史料調査會寫真部	法務調査班裁判資料 寫真複製	(未拂)
小計			一八、六〇〇			

昭和二十四會計年度における資料課特別經費所要見込

班別	項目	年月	金額	支拂先	記	事
史實	戦史複製	六月	三、一、一五圓	財団法人文化復興史料調査會	二期委託作業	二期委託作業
		七月	一〇、六、三〇			
		十月	五、九、三〇			
	謝禮金	四月	四、六、〇〇	澁谷、關根氏の分	第三期委託作業(訂正の分)	第三期委託作業(訂正の分)
		自五月至翌三月	三、五、〇〇	(其の都度定める)	同	同
資料		四月	四、五、〇〇	堀江保雄	LOPOその他からの調査指令に對し	LOPOその他からの調査指令に對し
		五月	三、二、五〇		同	同
		自六月至九月	四、〇、〇〇		同	同
		自十月至翌三月	三、〇、〇〇	(其の都度定める)	同	同

資料	謝禮金	二、三、一五	三、〇、〇〇圓	坂上秀夫氏	川西大艇英譯謝禮
合	計		一、八、九、〇〇圓		

合	計	
	謝禮金	戦史複製
計	三二、八五〇	一八七、七五圓
三二、一六二五		
	内史實班 資料班	一、七〇〇圓

日 2 指令による戦史複製は二復資第一七四號照會を以て、原稿の完成し
 てゐる分即ち戦史三九種及び圖表類一八種が完成する。

然しをから大東亞戦争海軍戦史の資料蒐集は之を以て終りを告げたと思
 るのは早計である。何となれば財団法人文化復興史料調査會に於て目下
 各個人との間に原稿執筆を契約中の資料のみでも約十數種類（豫定員二、
 〇〇〇内外）に上り、而も之等の表題丈は既に日 2 に申告済であるから
 である。

従つて今後同會の原稿が完成する毎に當課としては之を日 2 に報告の上
 各資料の處理に關し指示を仰がねばならぬ次第であるが其の場合日 2 か
 ら其の新製搬出を命ぜられる公算は相當あるものと豫想せねばならぬ。
 （現に既に三種類の追加を命ぜられた。）

而して今後新製を命ぜられた場合に於ける原稿は繰て文化復興史料調査會から買上げを要する（従來のものは既配布の調査費、謝禮金、筆耕料等の範圍内に於て資料課自ら原稿を蒐集したのであるか）關係もあり、豫定のもの全部を完成提出するものとすれば其の豫量は不確實であるが、最小限十五万圓程度（一應の算定基礎附録の通）に上るものと認められる。

勿論右追加提出の作業は一に速つて且今後の意向に依るもので必ずしも原稿全部の提出を命ぜられるとも限らず、又原稿全部が年度内に完成することも困難かも知れない。何れにせよ當課としては今後の對日接衝に際しては可成消極的方針を以て提出資料の局限に努力する一方適時賁諫との連絡を密にし豫め豫算の見透しを裏付としてのみ作業計畫の樹立に進みたい腹案ではあるが、賁諫に於ても今年度後半期に對する豫算措置上右十五万圓の^作一部又は殆ど全部の額に相當する特別作業が起り得べきことを豫め御含みの上完全の研究を進め置き相成りたい。

（終）

附 録

戦史追加提出に伴ふ所要經費概算

番號	表 題	豫想頁數	現 狀	原稿完成見込	記 事
四一	本土防衛作戰 其の二	二二八	奥宮氏完成	完 成	完成見込は概略の見當であつて、完成の前後及び延期は當然豫想される。
四二	其の三	一三二	同 右	完 成	
四三	海上護衛作戰	六〇	十川氏完成	完 成	
四四	開戦迄の政戦兩略並に戦前集定の作戦計畫	一〇〇	富岡、大前氏未定	九 月	
四五	戦前の軍備全貌	五〇〇		九 月	
四六	第一段作戰の經過概要	三〇		十 月	
四七	第二段作戰の經過概要	五〇		十 月	
四八	ギルバート方面の作戰	二〇		十 月	
四九	内南洋群島方面の作戰	七〇		十一月	
五〇	南洋部隊の作戰	五〇	土肥氏未着手	十一月	

五二	支那方面部隊の作戰 大陸方面の作戰	五〇〇	久任氏未完	十二月
五三	潜水艦作戰(第三段)	七〇	瀧谷氏未完	十二月
五四	終戰處理關係	二〇〇		十二月
合	計	二〇一〇		

所要經費

(1) 戦史原稿購入費(原稿代)

一頁五〇圓として二〇一〇頁分 一〇〇、五〇〇圓

(2) 青寫眞代

各種四葉として十四種五十六葉

原圖排書費(一葉一〇〇圓) 五、六〇〇圓

各種二十五部作製青寫眞一四〇〇葉

青燒代(單價二〇圓) 二八、〇〇〇圓

青燒用原紙購入費(二八〇〇木繼印一本代) 四一五圓

小計 三四、〇一五圓

(イ) 製本代

各種二十五部作製十四種分 三五〇部

一部製本代一〇圓(表紙官給) 三、五〇〇圓

(ロ) 合計

(1) 原稿代 一〇〇、〇〇〇圓

(2) 青寫眞代 三四、〇一五圓

(3) 製本代 三、五〇〇圓

合計一三八、〇一五圓

对本年後期に於ける値上りを考慮し十五万円乃至二〇万円

(終)

史実部長殿

SID/HS No. 12

25 MAY 1949

No: Lt. Col. S.M. Case, G-2, GHQ, Seap.

Subject: 舊日本海軍作戦資料の保管状況に關する情報の件

去る五月二十日貴殿から千早氏を通じ口頭指示のあつた首題の件に關し次の通り報告する。

一 貴殿指示の要點は次の二項目であるとして解する。

(a) 今次複製（又は新製）の上と下とに提出すべき作戦資料中提出種として第二復員局總務處理部に保有されて居る分の部數を其の保有者（箇所）と共に報告せよ。

(b) 之等作戦資料は(1)の許可なき限りは三者に送達せしめ又は供與されてはいけな。

二 前號(a)項に對し

既提出の一三種類の分としては別表の通りである。剩餘の分は適當な時機に取纏めて報告する原案であるか入付五と一〇部程度の保有部數を見込んである。

0342

第一號(b)項に就ては特に裁刷しをいやう敷心努力する。

但し日且も副からの各種情報の提供は求に對する回答資料作製上起案者又は其の事汗に關係した人物に資料の一部を内覧せしめる必要か時々起るから豫め御了解を得たい。

Hidemichi Yoshida
Chief of Historical Record Section
and Demobilization Bureau
Liquidation Division

別 表

作戦資料の確保有部数

假番號	Title	資料課保有部数		
		資料班	史實班	計
No. 1	Northern Area Operations	2	8	10
No. 2	Okinawa Area Operations	2	8	10
No. 3	Task Force Operations	2	10	12
No. 4	General Progress of Operations of Southern Force	2	10	12
No. 5	Malay Invasion Operations	2	10	12
No.17	Southwest Area Operations (From April 1942 to April 1944)	2	3	5
No.18	Western New Guinea and North of Australia Area Operations	2	3	5
No.25	Operational Preparation for Counter Attack Enemy's Landing on Japan Proper	2	3	5
No.26	Operation Against Soviet Union	2	3	5
No.37	Outline of Operations before End of War and Termination of Hostilities	2	10	12

0344

No.38	Outline of Progress of Air Operations in South-Eastern Area. Part 1.	2	10	12
No.39	Ditto, Part 2.	2	10	12
No.40	Ditto, Part 3.	2	10	12
備考	<p>(イ) 史實班保有の分は假綴の儘で製本してない</p> <p>(ロ) 表示の数字の外史實班には原稿として使用したものの各種1部(稀に2)宛を保有してあるか概ね衰朽使用に堪へない</p> <p>(ハ) 史實班としては File 用2~3部, 常時使用2~3部及二復内各課又は一復との連絡用として2~3部, 計6~10部程度現有することは好都合である</p>			

0345

25 May 1949.

SLD/HS No. 12.

To: Lt-Colonel S.M. Case, G-2, GHQ, SCAP.

Subject: Information on Situations of Reserved Copies of Data of Operations of Defunct Japanese Navy.

Concerning the subject matter as above orally directed by you through Mr. Chihaya on May 20, it is reported as set forth below.

1. We understand that the substance of your directive consists of the following two points:

(a) Out of the copies of the data of operations to be submitted to G-2 after being reproduced (or newly compiled), those now in custody in the Second Demobilization Bureau Liquidation Division as remaining ones, should be reported to you on their numbers as well as on their custodians (together with their custody places).

(b) These data should not be offered to any third parties perusal or possession unless permission for such be granted by G-2.

2. Concerning the preceding paragraph 1 (a).

The situations of the copies reserved at this Division of the thirteen (13) data already submitted to you are as set forth in the annexed table. Those of other data shall be reported in summarized report ^{OK} at proper occasion.

We have now a prospect to reserve in our hands five (5) to ten (10) copies each of these data.

3. Concerning the preceding paragraph 1 (b).

Our deliberate care and caution shall be paid specifically,

0346

so that any infringement on your directive shall not occur on our part.

However, in order to make replies to various demands of informations from GHQ authorities concerned, necessitates of letting the drafters of such replies or those connected with the requested matters see some portion of these data may arise from time to time, for which your understanding is requested in advance.

Hidemi Yoshida,
Chief, Historical Records Section,
Second Demobilization Bureau
Liquidation Division.

Annex Table.

Number of Reserved Copies of Data of Operations.

Provisional No.	Title	No. of Reserved Copies of Historical Records Section		
		Technical Branch	Historical Branch	Total
No. 1	Northern Area Operations.	2	8	10
No. 2	Okinawa Area Operations.	2	8	10
No. 3	Task Force Operations.	2	10	12
No. 4	General Progress of Operations of Southern Force.	2	10	12
No. 5	Malay Invasion Operations.	2	10	12
No. 17	Southwest Area Operations. (From Apr. '42 to Apr. '44)	2	3	5
No. 18	Western New Guinea and North of Australia Area Operations.	2	3	5
No. 25	Operational Preparation for Counter-Attack against Enemy's Landing on Japan Proper.	2	3	5
No. 26	Operations against Soviet Union.	2	3	5
No. 37	Outline of Operations before End of War and Termination of Hostilities.	2	10	12
No. 38	Outline of Progress of Air Operations in South-Eastern Area, Part 1.	2	10	12
No. 39	Ditto, Part 2.	2	10	12
No. 40	Ditto, Part 3.	2	10	12

Notes:- (a) Those retained at Historical Branch are in temporary binding form and not permanently bound.

(b) Beside the numbers indicated in the above table, the Historical Branch retains one copy each (rarely two) of these data used as drafts, which are generally worn out and unusable.

0348

(c) It is very convenient for the Historical Branch to retain six to ten copies in total, that is, two or three for file, another two or three for every-day use in the said Branch and the same number of copies for use in liaison work with each Section of Second Demobilization Bureau Liquidation Division as well as with First Demobilization Bureau.

史実探長殿

2 May 1949

To : Lt. Col. S.M. Case, G-2, GHQ, Scap.

Subject: 日本軍の南支那方面の作戦計画

目録の件次を記し、その下に、本表の件次を記す。本表の件次は、本表の件次を記す。本表の件次は、本表の件次を記す。

✓	SLD/HS No. 6		
✓	No. 19	Operations in Western New Guinea and Areas to the North of Australia.	4 - 8
✓	No. 17	Operations in South-Western Areas. (From Apr. 142 to Apr. 144))
✓	No. 26	Operations against Soviet.)
✓	No. 25	Preparations for Counter-Attack Operations against Enemy's Landing on Japan Proper.)
✓	No. 40	Outline of Preparatory Progress of Air Operations in South-Eastern Area, Part 3.	4 - 26

(b) 四月末迄了定の作業は、五月一日迄の二週間の間に完了し、五月一日日本報告と同時に提出された。

SID/HS No.6
No.6

File

✓ No. 3

Operations of Mobile Forces

✓ No. 4

General Progress of Southern Forces and Situations of Operations of the Japanese Navy in Philippines Aggressive Operations.

✓ No. 5

Maian Aggressive Operations.

二 作業進行中部分

四月三十日現在に於ける進行状況は次の通りである。

(a) 第二偵察局内にて作業中部分

No.6, No.8, No.9及No.10の Typing は五月上旬に於て、又No.7 は五月中旬

に於て大々了了し得る見込である。以上限定の五月末迄には複製を完了の上、提出可能な見込である。

又六月提出と予定してあるNo.11及No.15は既にTyping を終了し、近々印刷

決定せられた。

② 種々の其の復員業務處理中として出来なかつた分

No. 37, No. 38, 及 No. 39 の三種の進捗状況は詳細には判明しないが三月上旬

中に進捗は Typing 及印刷を終了し得るとの連絡を受けた所から
予定の進捗は十二日間に達し得るかと期待する。

(c) 一復員作業状況中二分

No. 34 及 No. 35 の二つは、前記の Typing を終了し五月二十日頃

に印刷完成し得るとの連絡を得たから予定の五月三十一日迄には進出
可能と判断せられたるものと期待して居る。

三平作業遂行の補助に就ては進出の方中 No. 17, No. 18,

No. 25, No. 26 の Typing 及印刷は、この Section の補助を以て終了した

次第である。

現在更に No. 36, No. 16, No. 21, No. 22, No. 23, Typing を順次進めるとするに
Mr. Chihaya による補助がある。

只作集の稿の終了見込に就て

現在 如く言 Section のは大な効力を期待することでは既許置に於ける No.1 No.40 の資料は No.33 の稿も二ね六月末迄には作集完了の上提出可能の見込である。

然るに No.33 の圖を以て作集は作集が概めて二役以外では作集困難と認められ且相當の計算を以て作集も辛じて七月六迄に之を完了すべく努力研究を進めて居るが、或は其の一部が八月迄に達することがあるかも知れぬと見られて居る。何れにせよ No.33 の圖表類は約三五〇枚と報告し此圖表の二つなども其の内二回表は他の Manuscripts に入れるべきもので各別に所定の位置を決定して居るものは三二六枚であるが當該の具体的位置が決定次第改めて詳細分解の上別途報告を進めるところと致しなむ。

茲に作集の稿に組入れたいもの
次の三箇の資料は既に原稿が完了したものと見做す No.1, 2, 3
File 同興し

定例として取上げられる。

No.41 本土防衛作戰 共 二 228 pages

No.42 " 其の三（防空要作戦） 152 "

No.43 海上要備作戰 60 "

之等の作戦計画は二分及提出予定日に概しては始首のNo.40迄の作戦進捗の状を見概してから協議決定し見めて報告致す。何となれば之等全部の概が完了が三月三十一日迄に終り得る事（此の点を自述として研究申なるも）又は八月にも足を出すか二論し自らの處結論を付ないからである。

尚本件の新規追加並に其の他の部官に於りSID/HS No.6 の一審中其の及No.4^{File}等を六の追加訂正したるから御了承を仰ぐ。

(2) No.4の"File"General Progress of the Operations Southern Force and Situations of Operations of the Japanese Navy in Philippines Aggressive Operations"
"General Progress of the Operations of the Southern Force"

2 No. 12 Title [本生方 昭和12年]

「本生方 昭和12年」

3) No. 15 Title [本生方 昭和15年]

「本生方 昭和15年」

(d) 第三編 昭和15年 昭和16年 昭和17年 昭和18年 昭和19年 昭和20年 昭和21年 昭和22年 昭和23年 昭和24年 昭和25年 昭和26年 昭和27年 昭和28年 昭和29年 昭和30年 昭和31年 昭和32年 昭和33年 昭和34年 昭和35年 昭和36年 昭和37年 昭和38年 昭和39年 昭和40年 昭和41年 昭和42年 昭和43年 昭和44年 昭和45年 昭和46年 昭和47年 昭和48年 昭和49年 昭和50年 昭和51年 昭和52年 昭和53年 昭和54年 昭和55年 昭和56年 昭和57年 昭和58年 昭和59年 昭和60年 昭和61年 昭和62年 昭和63年 昭和64年 昭和65年 昭和66年 昭和67年 昭和68年 昭和69年 昭和70年 昭和71年 昭和72年 昭和73年 昭和74年 昭和75年 昭和76年 昭和77年 昭和78年 昭和79年 昭和80年 昭和81年 昭和82年 昭和83年 昭和84年 昭和85年 昭和86年 昭和87年 昭和88年 昭和89年 昭和90年 昭和91年 昭和92年 昭和93年 昭和94年 昭和95年 昭和96年 昭和97年 昭和98年 昭和99年 昭和100年

以下 本編 No. 50 削除する。

Hidemi Yoshida
Chief of Historical Record Section
2nd Demobilization Bureau
Liquidation Division.

2 May 1949.

To: Lt-Colonel S.K. Case, G-2, GHQ, SCAP.

Subject: Monthly Report on Compilation and Submission of Data of Operations of the Defunct Japanese Navy.

The subject matter as above is as set forth below.

1. Those whose works were finished.

(a) Those whose reproducing works were completed and whose copies were submitted during April are the following five (5) data:

<u>No. according to SLD/HS No. 6</u>	<u>Title</u>	<u>Date of submission</u>
No. 18	Operations in Western New Guinea and Areas to the North of Australia.	April 8
No. 17	Operations in South-Western Areas. (From Apr. '42 to Apr. '44)	April 19 April 19
No. 26	Operations against Soviet.	
No. 25	Preparations for Counter-Attack Operations against Enemy's Landing on Japan Proper.	
No. 40	Outline of Progress of Air Operations in South-Eastern Area, Part 3.	April 26

(b) The three data mentioned below and slated to be completed at the end of April have been reproduced as scheduled and shall be submitted together with the present report on May 2.

<u>No. according to SLD/HS No. 6</u>	<u>Title</u>
No. 3	Operations of Mobile Force.
No. 4	General Progress of Southern Forces and Situations of Operations of the Japanese Navy in Philippines Aggressive Operations.

0356

No. 5

Malay Aggressive Operations.

2. Those whose reproducing works are now under way.

The situation of the progress of their reproducing works as of April 30 is as follows:

(a) Those whose works are being done in the Second Demobilization Bureau Liquidation Division.

Typing of No. 6, No. 8, No. 9 and No. 10 is expected to be finished in the early part of May, while that of No. 7 in mid-May. Accordingly we have good prospect that their reproducing will be completed and their copies will be able to be submitted up to the end of May.

Typing of No. 11 and No. 15 slated to be submitted in June is near to completion and will be put to printing shortly.

(b) Those whose works Yokosuka District Demobilization Liquidation Division is doing.

Although the detailed situation of the progress of the works of No. 37, No. 38 and No. 39 is not known to us, as we have received a report to the effect that their typing and printing will be able to be finished in the early part of May, we are expecting that we may be able to submit them on May 15, the estimated date.

(c) Those whose works are entrusted to First Demobilization Bureau.

They are No. 34 and No. 35. As we have ^{been} informed that typing of ^m more than two-thirds of them has been finished and all will be able to be completed about May 20, we are expecting that they will be able to be submitted till May 31, the estimated date.^e

0357

3. Concerning the assistance of your Section to these works.

Among the data already submitted to you, typing and printing of No. 17, No. 18, No. 25 and No. 26 had been completed exclusively thanks to the assistance of your Section.

Arrangement has been made with Mr. Chihaya so that typing of No. 36, No. 16, No. 21, No. 22 and No. 23 may be successively carried on by your Section.

4. Prospect of completion of the whole works.

If we can expect the enormous assistance of your Section to our works in future as at present, the works of the data from No. 1 to No. 40 in our program already submitted excluding No. 33, are expected to be completed and their copies will be able to be submitted till the end of June. However, as the works of compilation of the charts, tables, etc. ^{of No. 33} are so complicated that they are deemed very difficult for any offices other than the Second Demobilization Bureau Liquidation Division to do, and require sizable estimated ^{expenses} cost, we are now paying every effort and studying every steps in order to complete them just till the end of July, surmounting difficulties. Still works of some portion of them may be delayed to August, we fear.

Although it was reported and planned that the charts, tables, etc. of No. 33 are about 350 sheets, 24 sheets of them should be included in the data under other titles, and those slated to be newly compiled specially and then to be submitted are 326 sheets. As soon as the concrete plan of our Section concerning them be made, we would submit a separate report on them classified in detail.

5. Data desired to be newly included in the present program.

As the drafts of the following three data have been completed,

0358

we would like to treat them as those slated to be submitted, giving them the following Nos. and Titles:

- No. 41 Defensive Operations of Japan Proper, Part 2. 228 pages.
- No. 42 Ditto, Part 3. (*Against the Enemy's Air-Raid*) 152 pages.
- No. 43 Surface Escorting Operations. 60 pages.

As to the allocation of their works, estimated dates of their submission, after having clear prospect of the situation of the progress of the data from No. 1 to No. 40 for some time hereafter, we shall have conferences on them with the parties concerned and then a report on the decision of the said conferences shall be submitted to you.

Because we have not yet reached any conclusion whether the reproducing works of all these data can be completed till July 31 (although we are now studying every possible steps so as to complete them till this date) or they be delayed till August.

Incidentally, due to the new adding of the data mentioned above and other circumstances, we would like to modify the numbers and titles of the data of SLD/MS No. 6 as follows, for which your approval is requested:

(a) Title of No. 4, "General Progress of ^{Operations of} Southern Force and Situations of Operations of the Japanese Navy in Philippines Aggressive Operations" shall be amended simply as "General Progress of ^{Operations of} the Southern Force".

(b) Title of No. 12, "Defensive Operations of Japan Proper" shall be amended as "Defensive Operations of Japan Proper, Part 1".

(c) Title of No. 15, "Philippines Aggressive Operations" shall be amended as "Situations of Operations of the Japanese Navy

in Philippines Aggressive Operations".

(d) No. 41 to No. 52 of the data to be newly compiled as set forth in para. B3 of SLD/HS No. 6 shall be moved down to No. 44 to No. 54 in the same order and former No. 50 shall be deleted.

Hidemi Yoshida,
Chief of the Historical Records
Section, 2nd Demobilization
Bureau Liquidation Division.